

★安全安心の学校方向性ニュース(保護者のみなさんへ)

お忙しい中、個人懇談会にお越しいただきありがとうございます。お子さんの学校での様子や家での様子など詳しく共有でき、二学期以降に目標をもってお子さんが学校生活を送れるような前向きな懇談会になればと思います。



pixta.jp - 38951335

梅雨明けと同時に大変暑くなっています。ラスト1週間。また夏休みもあり、部活等で活動される場合は、2リットル程度の水分と塩分（塩一つまみ）を家からお持ちいただけますようによろしくお願ひします。生徒のみなさんは、活動中・活動後だけではなく、活動前には水分・塩分補給をして下さい。



★西中プライド(生徒のみなさんに望むこと)

自主学習ノートとして頑張ってくれているAさんに続き、**Bさんが自主学習したノートを**見てほしいと提出してくれました。**先輩の頑張りを見て後輩も頑張る。「西中学校ってめっちゃええ学校やん」**て校長先生は自画自賛しています。

ちなみにこの自主学習ノートは、当然**西中生の誰もが挑戦する権利**を持っています。**1冊仕上がりれば担任の先生を通じて校長先生まで提出**してください。できたら、**1冊のノートの裏表紙に勉強して思ったことを感想文として書いてほしい**です。

1冊のノートが終了したら、**校長先生から新しいノートを1冊プレゼント**します。

Bさんへ

自主学習ノートを提出してくれてありがとうございます。しっかり勉強している様子が伝わり、校長先生自身がすごく勇気をもらいました。

私自身は、中学時代自主学習ノートどころか教科のノートすらまともに最後まで終わらなかったような恥ずかしい状態で、そういう点からするとBさんの未来はめちゃくちゃ明るいですよ。

福岡県志賀島でみつかった金印の話ですが、1700年を超える長い年月を経て、しかも「農耕地を耕していた人の鍬に挟まって発見される」という奇跡的な発見となると、神がっていますよね。

(それだけに「にせもの説」もありますが、真実であってほしいと私は願っています)

I my meなどの勉強を見ていると、私が子どものころに見たコマーシャルを思い出します。

「I my me のミートボール。

you your お湯——にいれるだけ。

she her her で、できあがり——石井のミートボール。」

私がこの歌でこの学習内容を暗記していたのを思い出しました。

もしかして私と同年代の人(56歳)がご家族にいればご存知かもしれませんね。

先輩(Aさん)のノートを私が校長だよりで紹介して、Bさん自身も「頑張って勉強したのを校長先生にみてもらいたい」と提出してくれる。自主学習の輪が広がりますね。西中学校での**自主的な勉強の輪**が広がっているのがわかり、すごくすごくうれしいです。本当にありがとう。

金印 かんのわのなのこくおう 「漢委奴国王」



●志賀島の田で、甚兵衛が発見した

金印の発見場所は、福岡県の博多湾の入り口にある、しかのしま志賀島です。江戸時代の1784年2月23日、志賀島の甚兵衛という農民が、田の境のみぞを修理しようと岸をほったら、大きな石が出てきました。その石をどけると、下の石の間にあったのです。3月に、この評判を聞いた郡奉行こおりぶぎょうの津田源次郎により出されて金印を提出させられ、結局は、黒田藩（福岡藩）のものになりました。そのかわりに、甚兵衛は白銀5枚（50枚ともいわれる）をもらいました。今は、国宝に指定され、福岡市博物館に展示されています。（5世紀前半に中国で書かれた「ごかんじょうとういでん後漢書東夷伝」の中に、後漢のこうぶてい光武帝が、紀元57年に、わ倭の奴国に印綬（役人の身分を証明する印と、それを身につけるための組みひも）をさずけたことが、書かれています。）

●上杉鷹山先生のお話

鷹山が藩主になったときには、上杉家は、15万石の大名でありながら、昔のままの百万石の家臣を抱え（中略）負債は何百万両にもものぼりました。税とそのきびしい取り立てにより住民は土地を追われて減り、貧困が全領を覆ったと聞いても不思議に思いません。米沢は羽前の南部に位置し、海岸はなく、土地の産出力と自然の資源の面では、日本でかなり悪いほうでした。

（中略）

藩主の地位に就いてから2年後、鷹山は、はじめて自領の米沢に足を踏み入れました。それは晩秋のことで、ただでさえ悲哀のたちこめる状態であるところへ、「自然」が、さらにも悲しさを添えていました。行列が、荒れ果てた、だれも顧みるものもないさびれた村を、一つまた一つ通るたびに、目の前に展開する光景を見て、多感な年若き藩主の心は深い衝撃を受けました。乗り物のなかで、鷹山が、自分の前にある火鉢の炭を一生懸命に吹いている姿を、供の家来が見かけたのは、そのときでありました。家来の一人が、「よい火をお持ちしましょう」と申しました。

「今はよい。すばらしい教訓を学んでいるところだ。それは後で言おう」
鷹山は答えました。

その晩、行列が泊まった宿で、藩主は供の家来を集めて、その午後に学んだ新しい、貴重な教訓を説明しました。

「この目で、わが民の悲惨を目撃して絶望におそわれていたとき、目の前の小さな炭火が、今にも消えようとしているのに気づいた。大事にしてそれを取り上げ、そっと辛抱強く、息を吹きかけると、実に嬉しいことには、よみがえらすことに成功した。」同じ方法で、わが治める土地と民とをよみがえらせるのは不可能だろうか”
そう思うと希望が湧き上がってきたのである」

『代表的日本人』内村鑑三(p.57)より。

鷹山先生すごいですね！このように一つの事柄や人物を学ぶ中で掘り下げていくと、次々新しい発見に出会うことがあります。まさにこれが学習の醍醐味です。今学んでいることをもとに、「主体的で深い学び」につなげていきましょう！

★アラビアンナイト(千夜一夜物語)

砂漠の国でゴルフ???

私はゴルフをほとんどといっていいぐらいやったことがなく、せいぜい 1・2 度打ちっぱなしに行ったことと、数年に一度パターゴルフを楽しむ程度です。

しかし、一度だけ UAE にいるときにゴルフコースをまわりました。

UAE には 20 年前にすでに、ドバイにあるドバイクリークゴルフ場など世界的にも有名なゴルフ場がありました。大きな大会も開かれているようで、砂漠の国とは思えない緑の芝生の綺麗なゴルフ場でした。

しかし、私が回ったゴルフ場とは、そういうゴルフ場ではありませんでした。私が行ったのは、アブダビにあるサンドゴルフ場。つまり、緑が全くない、グリーン？もフェアウェーもすべてが砂という、全てがバンカーのような緑のないゴルフ場でした。プレーする人は、なんと足ふきマットのようなものを持ち運び、打つ際にはそのマットを敷き、その上にゴルフボールをのせて打つのです。グリーン上は打ったらすぐにトンボと呼ばれる道具で地面をならします。

初体験がサンドゴルフという得難い体験をさせてもらいました。(それ以降コースをまわっていないので、唯一のコースのラウンド体験です。)

今では、ドバイにもアブダビにも世界ツアーで使われるほどの凄いゴルフ場がいくつもあるようです。みなさんももう少し大きくなれば、UAE でゴルフをする機会もあるかもわかりませんね。そのときにサンドゴルフがまだあるかはわかりませんが、残っているようでしたらついでに回ってみて下さい。